

おきたま社会教育情報

Vol. 170 令和6年11月号

令和6年度 置賜社会教育振興大会 (兼)置賜地区生涯学習振興ブロック大会

11月12日(火)、おぐに開発総合センターで標記大会を実施しました。初めに令和6年度置賜社会教育振興会表彰が行われ、長年にわたり社会教育の振興に尽力された9名の皆様に表彰状が授与されました。受賞された皆様は以下の通りです。誠にありがとうございます。

後半は、NPO法人SET 交流部副部長の小林敬志氏を講師に迎え、「人口が減るからこそ豊かになるひとづくり、まちづくり、社会づくり」の演題で講演会を行いました。人口減少を「問題」と悲観的に捉えるのではなく、一人一人の存在価値や影響度が高まるものであると前向きに捉えたお話に、参加した多くの方々が勇気をもらったのではないかと思います。

次年度の振興大会は、第16回山形県社会教育研究大会と兼ねて川西町での開催となります。「置賜はひとつ」の合言葉の下、多数の皆様にご参加、ご協力をいただき、実り多い大会にしていきたいと考えております。

令和6年度 置賜社会教育振興会表彰 受賞者

<優良社会教育団体・公民館・職員等表彰>

- 米沢市 金子 壽美氏 (南部コミュニティセンター主事)
佐藤 裕子氏 (西部コミュニティセンター主事)
長井市 鈴木 昌克氏 (長井市青少年育成推進員会会長)
南陽市 鈴木 太氏 (前南陽市青少年育成推進員)
高島町 竹田 恵一氏 (高島町芸術文化協会会長)
川西町 横山 昇氏 (前川西町芸術文化協会会長)
小国町 渡部 眞治氏 (小国町社会教育委員)
白鷹町 梅津 秀明氏 (前白鷹町ソフトボール協会会長)
飯豊町 中善寺一昭氏 (飯豊町地域活動推進員)



スポーツ少年団 団員交流会 はしる、とぶ、わらう、その先へ。

60名を超える参加者が集い、11月9日(土)長井市置賜生涯学習プラザを会場に「アイスブレイク」「野外活動(焼き芋)」「講義」のプログラムで団員交流会を実施しました。タンザニア出身で、長井市スポーツ国際交流員ムフガレ・エリック氏の「アイスブレイク」では、スワヒリ語の数字の読み方を使ったゲームや軽運動を行い、心と体をほぐし、仲間との交流を楽しみました。また、焼き芋では自分で芋を洗い、包み、みんなで火力調整のための落ち葉集めをしました。天気にも恵まれ、秋の雰囲気を感じながらおいしく焼けたサツマイモを食べることができ、笑顔でいっぱいになりました。

最後は、「スポーツ少年団におけるリーダーについて」を廣川氏よりお話いただきました。スポーツ少年団は小学生で終わりではなく、「ジュニアリーダー・シニアリーダーがあること」「誰でもリーダーになることができること」など、これまでのリーダーという考えが大きく変わる時間となりました。半日という限られた時間での活動となりましたが、それぞれのプログラムで一人一人得るものが多く、充実した交流会となりました。



廣川氏と考える「リーダーとは？」





大切なのは「自分らしさ」



～置賜地区子どもの読書活動推進研修会(兼)第2回公民館・コミュニティセンター・社会教育関係職員等研修会～

読書の秋。11月7日(木)川西町交流館「あいぱる」を会場に、山田 昭彦氏(一般社団法人 JAPAN絵本よみきかせ協会認定 絵本よみきかせセラピスト®)を講師に迎え、標記研修会を実施しました。「子どもが読書に親しむ環境づくり～すべての子どもに本との素敵な出会いを～」の題で講話をいただいた後は、実技演習の時間です。グループで、お互い読み合い、聞き合う活動を通し、



「自分の持ち味」や「自分らしさ」に気づき、深める時間になりました。

「グループワークで互いに読み聞かせをし合うことで、選書の大切さ(自分の性格や声のトーンなどの個性を活かしたものを改めて感じた)」「自分の良さを活かして、これからも子どもたちに、自分の好きな本をたくさん読んで、絵本の楽しさを伝えていきたい」等の感想からも、「参加者一人一人の存在が、本が好きな子どもを育てる環境そのものである」ということや、「自身も大いに楽しみながら活動を広めていくことの大切さ」を実感しました。終始笑顔が溢れ、拍手や笑い声が響く温かい雰囲気、「やっぱり絵本っていいな」「子ども達にも、この感動をもっと味わわせたいな」という気持ちが高まりました。早速、それぞれの現場でそれぞれのお立場から実践いただければと思います。

公共図書館(室)連絡協議会の協力による恒例の「おきたまセレクション」絵本の展示

「グループワークで互いに読み聞かせをし合うことで、選書の大切さ(自分の性格や声のトーンなどの個性を活かしたものを改めて感じた)」「自分の良さを活かして、これからも子どもたちに、自分の好きな本をたくさん読んで、絵本の楽しさを伝えていきたい」等の感想からも、「参加者一人一人の存在が、本が好きな子どもを育てる環境そのものである」ということや、「自身も大いに楽しみながら活動を広めていくことの大切さ」を実感しました。終始笑顔が溢れ、拍手や笑い声が響く温かい雰囲気、「やっぱり絵本っていいな」「子ども達にも、この感動をもっと味わわせたいな」という気持ちが高まりました。早速、それぞれの現場でそれぞれのお立場から実践いただければと思います。

読み合い 聞き合い 学び合う
参加者の皆さん 盛り上がりました!



県では「第4次山形県子どもの読書活動推進計画」を策定し、本が好きな子どもの育成に取り組んでいます。今後も子ども達を取り巻く読書環境づくりに向けた研修会を計画していますので、ぜひたくさんの方々のご参加をお待ちしております。

山形県地域クラブ等指導者研修会 in 置賜地区

今年度より実施されている地域クラブ等指導者研修会が、10月20日(日)長井市置賜生涯学習プラザを会場に、置賜地区の指導者が集まり行われました。指導者が技術だけではなく部活動の意義や基本的な考えを理解して、適切に生徒の指導に当たることができるようにすることを趣旨とし、4つの研修から多くのことを学ぶことができました。

- 「研修1: スポーツにおけるハラスメント防止について」
- 「研修2: スポーツ活動に係るリスクマネジメント」
- 「研修3: スポーツ栄養マネジメント～食で育む心と身体～」
- 「研修4: 【実技】 応急手当」

今、指導者として求められている考え方が十分に詰まった研修会でした。



スタートコーチ(ジュニア・ユース)養成講習会開催

10月26日(土)川西町農村環境改善センターを会場として、今年度の講習会を行いました。参加者は資格を取得するために19時間以上のカリキュラムに取り組みます。内容は、事前に自宅学習とオンライン学習を行い、最後に集合学習となります。今回の集合学習は、講師の瀧澤孝次氏による「講義総括」と、廣川由香氏、近雅博氏、中津川典広氏、船山広昭氏による「グループワーク」でした。

グループワークでは、2つのテーマについて、指導者として必要な資質・能力を出し合い、考えを共有しました。多くの方の意見を聞くことで、指導者としての「役割」や「何を大事にすべきか」等、考えを広げたり、深めたりすることができました。今後、部活動が地域で展開されていく中で、ますます重要となる指導力の向上と、よりよいスポーツ活動について真剣に学び合うとてもいい時間となりました。



→ コードを読み取っていただくと、山形県のHP上で本紙のデジタル版とバックナンバーがご覧いただけます。

【お問合せ先: 置賜教育事務所社会教育課 TEL 0238(88)8242】

令和6年度 置賜地区自作視聴覚教材コンクール

特選 作品鑑賞会



今年度の「特選」作品を鑑賞してみませんか！

参加費
無料

[日時] ▶▶▶ 11月30日(土)
AM10:45～11:50
[会場] ▶▶▶ 南陽市沖郷公民館
(南陽市若狭郷屋917-1)

社会教育部門 特選

「きつねと殿様」

南陽8ミリクラブ 加藤 正人氏

「ふるさとの母なる川 吉野川」

南陽8ミリクラブ 曾根原 力氏

「ででんこ でん」

飯豊町教育委員会 社会教育課

学校教育部門 特選

「草相撲力士 小松山林四郎」

小林 幸子氏

主催：置賜社会教育振興会

問合せ先 置賜教育事務所社会教育課(担当：岩井)

TEL: 0238-88-8242 FAX: 0238-84-5700

Email: iwait@pref.yamagata

FAX送信票【添書不要】

このままFAXしてください。

令和6年度置賜地区自作視聴覚教材コンクール 作品鑑賞会申込書

No.	お名前	市町名	緊急連絡先 (電話番号など)
1			
2			
3			
4			
5			

【申込先】

置賜社会教育振興会事務局

(置賜教育事務所社会教育課内 担当:岩井)

FAX 0238-84-5700

参加希望の方は11月22日(金)までお申し込みください。
電話でのお申し込みは 0238-88-8242にお願いします。